

## 【西都市】 校務 DX 計画

### 1. 宮崎県「教育の情報化」推進プランにおける校務 DX の取組について

「宮崎県『教育の情報化』推進プラン」においては、「校務 DX」に関する以下の3つの具体的取組を設定している。

#### ① 業務を支援するツールを活用した効率化の推進

教職員の業務の負担軽減を図るため、業務を支援するツールを活用し、書類作成や情報共有、採点・集計等の作業の効率化を進める取組を行う。また、校務の効率化に関する好事例について、事例集や動画などを、共通ポータルサイト等への掲載を通して広く周知していく。

#### ② 次期校務支援システムへの移行

次期校務支援システムへの移行に向けて、校務系・学習系ネットワークの統合によるデータ連携についての調査研究等の準備を着実に進めていく。

#### ③ 校務における生成 AI の活用推進

業務の効率化や質の向上を図るため、生成 AI の校務における活用について、国の実証研究における実践例等の情報を各学校に提供するなど、校務における生成 AI の活用が推進されるよう支援する。

県が設定しているこれらの具体的取組をもとに、本市としての目指す方向性を設定し、関係各課と各学校が連携を図りながら進めていく。

### 2. 「校務 DX チェックリスト自己点検結果」における課題等について

「GIGA スクール構想の下での校務 DX チェックリストの自己点検結果（速報値）」（文部科学省・令和6年9～11月実施）を数値化した結果では、対象の市内14校においては、宮崎県全域の平均得点は上回っている（本市平均405.3点、県全域平均358.2点）。

しかし、学校間における取組には差があることから、特に以下の3点について、各学校と連携を図りながら校務 DX の推進を図っていく必要がある。

#### (1) GIGA 環境・汎用クラウドツールの一層の活用

本市においては、教職員に Google、Microsoft の個人メールアドレスが付与されており、情報共有や連絡等にクラウドサービスが活用できる環境にある。

自己点検の結果によると、「保護者への調査・アンケート等をクラウドサービスを用いて実施・集計していますか。」という項目で高い値が出ているなど、校内におけるクラウド活用はある一定数行われていることが分かる。

しかしながら、学校内や家庭との連絡におけるクラウドサービスの活用について

は、学校間での取組に差があることから、先進地域の事例を紹介したり研修会を実施したりすることで、各学校におけるクラウドサービスの活用を推進していく必要がある。

#### (2) FAX・押印等の制度・慣行の見直し

自己点検の結果によると、本市においては、7割以上の学校でFAXを活用していることが分かる。また、同じく7割以上の学校で、業務で押印・署名が必要な書類があると回答している。そのため、今後、FAXや押印等について制度・慣行の見直しを行っていく。

#### (3) 教育情報セキュリティポリシーの策定

本市では「西都市教育情報セキュリティポリシー」を作成しているが、クラウド上のデータやサービスや生成AIを活用することを前提とした改訂に未着手であることから、今後、国の方向性や現状を把握し、所要の改訂及び周知を行っていく。

### 3. 今後の校務支援システムの在り方について

校務支援システムについては、宮崎県統合型校務支援システム共同調達・運用協議会のもと、全県下で統合型校務支援システムの共同調達を行っているが、現行のシステムはネットワーク分離によるオンプレミス型運用であり、学習系で生成されつつある膨大なデータと校務支援システムに蓄積された校務系データとの連携が困難であったり、クラウドベースとなっておらず自宅や出張先での校務処理ができなかったりするなどの課題が見られる。

そのため、校務支援システムの更新においては、国の「次世代の校務デジタル化実証事業」の成果を参考に、クラウド環境での校務の実施等を視野に入れ、県主導のもと、宮崎県統合型校務支援システム共同調達・運用協議会において検討を進めていく。

### 4. 今後の計画について

これらの現状等を鑑み、今後は以下の項目について具体的な取組を設定し、重点的に校務DXを推進する

#### ① クラウドサービスの活用

校務等におけるクラウドサービスの情報提供や研修の企画

#### ② 校務における生成AIに関する検討

校務における生成AIの活用について導入の検討を行う

#### ③ FAX・押印の見直しについて

FAX及び押印に関する実態把握と廃止に向けた動きを加速する

#### ④ 教育情報セキュリティポリシーの改訂

国や県の方向性や現状の分析

## 西都市情報セキュリティポリシーの改訂